小川町総合振興計画審議会、
まち・ひと・しごと創生総合戦略推進会議
第１回合同会議　議事要旨

◆日　時：平成 27 年 7 月 30 日（木）　10：00～
◆場　所：リリックおがわ　２階会議室
◆次　第
　１．開会
　２．あいさつ
　３．委任状交付式
　４．自己紹介
　５．会長・副会長の選出
　６．諮問
　７．休憩
　８．議事
　　（１）策定方針について
　　（２）基礎調査概要について
　　（３）人口ビジョンについて
　　（４）会議の公開について
　９．その他

【議事内容】

◆策定方針について

意見なし。

◆基礎調査概要について

江原委員	・現況整理で都心から７３分とあるが、今は快速急行だとか、いろいろ便利な電車ができたことにより、池袋まで１時間少しで行けるようになっている。現状を踏まえた数字に直した方が良いと考える。
事務局	・TJ ライナー等もあるので、現状を確認して、表現に正確性を求めたい。
曽根委員	・２ページの地域防災について、「震度４」と書いてあるが、「震度５弱」だと思うが、いかがか。
事務局	・防災担当と確認した段階では「震度 4.2」であったが、さらに正確性を求めていきたい。

◆人口ビジョンについて

意見なし。

◆会議の公開について

山岸委員	・第４次後期の総計の委員もしており、５年前もこの立場で出ていた。資料を見ると、良くできていて素晴らしいのだが、委員はこれで良いかと追認する形だと、委員にいろいろ意見があっても、意見が反映されないと思う。 ・また、農業林業について、高齢化や担い手不足が懸念されているとあるが、実際に八和田地区には放置された農地がかなりある。個人で十何町歩引き受けてやっている方もいるが、こういう方があと５～６年したらできなくなるとうのもある。 ・また、住み良いとか良いことが書いてあるが、絵に描いた餅ではなく、具体的なことをやっていかなければならない。 ・なお、七夕まつりの実行委員長をしており、リリックを休憩スペースとして急きょ開放することができたが、役場などの組織の縦割りの関係により、開放に至るまでの調整に非常に手間がかかった。 ・ぜひそういうことをなくしてほしいと思っている。
事務局	・この審議会・推進会議にて、ご意見等をいただきながら、答申案が策定されると考えている。また、その実現に向けては町民の皆様や役場の職員が一体となって取り組んでいきたいと考えている。

	・なお、公開する会議録は、要点筆記を考えている。その際、会議の中で公開することがふさわしくないという議論で出た場合は、非公開も考えていく。
小久保会長	・会議及び議事録について、公開とさせていただく。

◆その他

髙橋委員	・本日は（1）～（4）まで議事があり、説明を受けてという形で進行が進められていたが、「次回はこの部分について審議するので、この部分を宿題的にやってきて意見を出してもらいたい」とするとやりやすいと思う。
吉田委員	・同じような疑問を感じた。資料を事前にいただいて、一通り読んできた。本日は議事にある内容について、事務局が説明するのを聞く場と理解したが、資料を事前に読んできた中で一番疑問に感じているのは、「地方版総合戦略プロジェクト提案資料一覧」に、いろいろな取り組みが書いてあるが、資料にある「提案課」とは、取組を実施する課を指すのか、あるいはただ提案した課になるのかがわからない。 ・もし、提案課が実施するのであれば、政策推進課には何人職員がいるのか。こうした事業ができるのか。もう少し整理しなければならないと思う。次回細かく質問したいと思うが、本日は事務局の話を伺ったと捉えることとする。
事務局	・第１回目会議ということで、事前に資料を配布させていただいた中で、説明が中心となったが、次回以降については、議論を中心とした内容を考えていきたい。 ・また、「地方版総合戦略プロジェクト提案資料一覧」については、各所管課や各職員から出された提案一覧になる。これらは、今後、この会議等を通じて話をしていただくことを考えている。取組についても、政策推進課だけではできないので、事業の性質や位置づけ等を考えながら、町の所管課や各団体等の協力をいただくような事業として位置づけ、実施・実現を図っていきたいと考えている。
曽根委員	・小川町人口ビジョン骨子についての、とても良くできていて、素晴らしい内容と思うが、資料に目を通していて、「出生数」と「合計特殊出生率」の違いがよくわからなかったので、説明していただきたい。
事務局	・出生数は実数になる。合計特殊出生率は、特定の年代の女性が生涯に生む子どもの数の平均値を表したものである。

杉山委員	・ここ５～６年の間に小川町に何度も来ており、魅力的な町だと思っていたが、人口ビジョンを見ると、非常に悲惨な感じがする。こういう状態が日本全国であちこち出てくる中で、政府がやっているのは地域同士で競争しなさいということで、この議論は政策的にシビアになっていくような気がする。その意味で重要な会議になると考えている。 ・また、役場の方々からの提案資料を見ているが、まだまだこの町には潜在的な魅力があるという、楽観的な感じが少しでも見えるような結論になれば良いなというのが正直な気持ちである。
事務局	・ご指摘の通り、人口ビジョンの内容は衝撃的な数字だと思っている。それを少しでも抑制・回避ができるように、また、住みたいと思えるような今後の方向性や具体的な施策について、議論いただきながら、計画を作っていきたいと思っている。
服部委員	・小川町内のあちこちで老人ホーム的なものができているが、現実的な話として、ケアを求める要介護の高齢者が多い状況で、私の関わっている所でも満杯で断っている状況にある。そういう人たちは、子どもたちが他所にいるため施設に入らざるを得ない状況にある。 ・また、企業誘致によって、住宅や工場ができ、社員の人が町に住み子供が生まれることで、人口が増加していくと思う。ただし農地の関係が企業誘致のネックとなっている。また、農地の問題だけではなく、周辺に比べて山や川が多いという小川町の地形的な問題もあると思う。 ・資料の中で、町の将来像に関する内容が出ていない。今後考えていかなければならないと思う。
事務局	・高齢者の要介護問題等については、小川町の介護保険の計画や高齢者福祉計画があるので、それらの計画と整合性を図りながら、総合振興計画の中で位置づけ、方向性を出していくことを考えている。 ・ただ、具体的な解決方法までは、整合性を図った上で総合振興計画や実施計画の中で言及ができれば、その中で委員の皆さんの意見をいただきながら、策定の中で記述が整っていくと考えている。 ・同じように、将来の活性化や企業誘致についても、総合振興計画や総合戦略の中で記述ができて、実際に実現できるような体制を整えていくという形で皆さんに議論いただきたいと考えている。 ・企業誘致については、町として当然進めるべき施策と考えている。その成果として、自動車関連の進出があるが、さらにそれに含めて推進していくという町としての立場はある。

	・この計画に取り込むことが大事だとも考えている。
小久保会長	・次回会議については、事務局を通じて連絡をさせていただく。

以上